

ギフチョウとの遭遇を楽しみに・・・

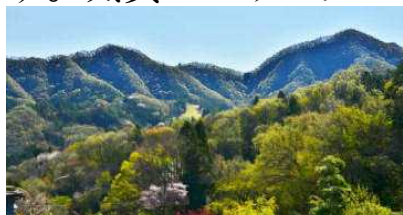
石砂山

実施日 2013年4月13日(土)
 天候 快晴
 リーダー 遠井 謙策
 参加者 若村貴世子、斎恵美子、一柳昭、伊東勝昭、鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、齊藤伸二郎、宮下良之、徳山敬子 計15名
 費用 960円(高尾起算、タクシー代含む)
 タイム 藤野駅(8:00)やまなみ温泉(8:30)峰山(9:30~9:45)菅井下(10:32~10:45行動食)伏馬田分岐(11:20)石砂山(11:48~12:40昼食)篠原(13:25)プレジャーフォレスト前(14:35タクシー)相模湖駅(14:50頃)

恋してたあの日、見るもの聞くもの思うこと、何もかもがバラ色に輝いていた。将に春爛漫、うららかな日射しの中、あの日が甦ったような一日だった。本山行のポイントは二つ、天然記念物「ギフチョウ」と恐ろしい「ヤマビル」。

結論から言おう、こぶし会の完勝だった！。ヒルはまだ冬眠中、春の女神は山頂でひらりひらりと舞いながら我々を迎えてくれたのだ。

無風、青空、気温12℃の絶好の気象条件下、バス停やまなみ温泉から歩き出す。気負ったリーダーの内緒の凡ミスも



りと咲くヒトリシズカや薄紫のタチツボスミレが可憐。坂をえんやこらと越え、風神雷神雨神の碑を過ぎると間もなく朽ちた祠のある山頂。南に北丹沢山塊がくっつき、東にこれから登る石砂山がすぐ目の前。

廃プラ利用の長い階段を下り、送電鉄塔をくぐる

と開けた西面は明るい芽吹きの中、黄緑と山桜のピンクが可愛いパッチワーク。降り



立った菅井集落で若干の行動食を取り、さあこれからが本番だ。

今どき珍しい二宮金次郎像のある旧小学校の脇を通り、石砂山標も整備され歩か易い。伏馬田(尾崎)城址入口を過ぎる頃、いよいよ



陽光がまぶしく暖かい。ヤマブキの鮮やかな色も歩きのテンポを速くさせる。頂上直下、急な階段が待ち受け一瞬怯むが、逢いたさ見事に疲れを忘れ一気に駆け上がる。「オーッ！いるではないか」

無心に飛び交う女神たちが・・・。予想を超える数だ。多くの仲間がカメラ片手に駆け回っている。我が会自慢のカメラマンも苦勞の末貴重な写真を撮ったようだ。優雅に舞うギフチョウを愛でな

がらの昼食は美味しさが格別だ。ゆっくりとたっぷりと天上の楽園を満喫できた。

篠原に向っての下山はあっという間。

そして山登りはここがゴール。タクシーを呼ぶ選択肢もあったが、里山の春も今が盛りで山躰や石楠花があでやかだ。



日はまだ高い。木々や野辺に色豊かに咲き誇る花々に後押しされ、楽しみながらのハイキングと洒落込んだ。

石老山を巻く4kmの車道歩きでプレジャーフォレスト迄。だが落とし穴が。その時間だけバスが1時間空く。結局泥縄でタクシー4台に分乗、流れ解散となつてしまったことは、浮かれたリーダーの反省点。画竜点睛を欠いたというか、竜頭蛇尾というか、締まりませんでした。合ご免なさい。でも優しい皆様、又付き合

って下さいね！！ (記・遠井 謙策) (写真提供・伊藤 久雄/石原勝正)